

ひまわり通信

№ 65 平成 19 年 9 月 28 日

新潟市立東青山小学校

児童数 614 人

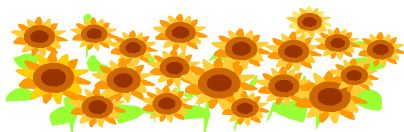
(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

いのち輝く子ども

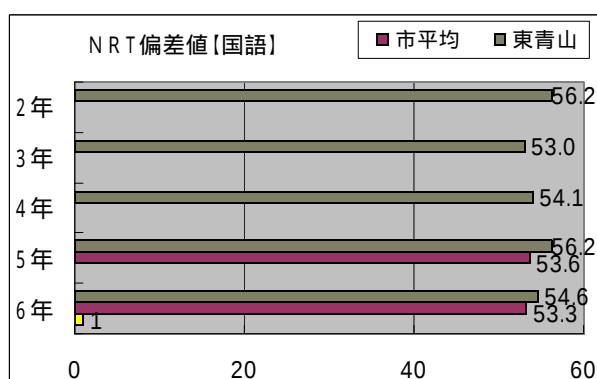


授業力向上に向けた取組

政令市新潟が目指す「確かな学力を身に付けたこども」を育てるには、基礎・基本の定着だけではなく、学ぶ意欲を引き出す授業、自分の将来への夢や希望をもたせる授業、思考力・判断力・表現力などを身に付ける授業となっているかなどが大切です。そのために、児童自身が課題解決方法を選択・決定する場面を意図的に設定したり、分かりやすい指示や説明の仕方を工夫したり、興味・関心をもたせるための教材開発をしたりするなどして、日々の授業を大切にしたい指導が教師に求められます。

児童に確かな学力を身に付けさせるには、何と言っても教師の指導力にかかっています。そのため当校では、教科指導において教師一人一人が１年間で達成させたい具体的な目標と方策を立て、日々の授業で具体的な手立てを講じて指導を行っています。また、全担任が公開授業を行い、授業後の協議会で意見交換をしながら評価し、指導の改善を図る校内体制を整えています。全員が授業公開する体制は３年目に当たります。公開時期については、担任が年間を見通して計画的に進めていますし、学級の児童の実態に合わせ基礎・基本、思考力・判断力・表現力の育成を大切にしたい授業改善が進んでいると感じています。

今年４月に実施した学力テスト（NRT）の結果は下記のとおりです。どの教科も国の偏差値平均 50 を上回っておりますが、具体的な単元で見ると指導の改善が必要なところもあり、各学年で話し合っ具体的手立てを講じ、年間を通して計画的に指導に当たっています。以下に、各学年の取組の一例を紹介します。



【国語】

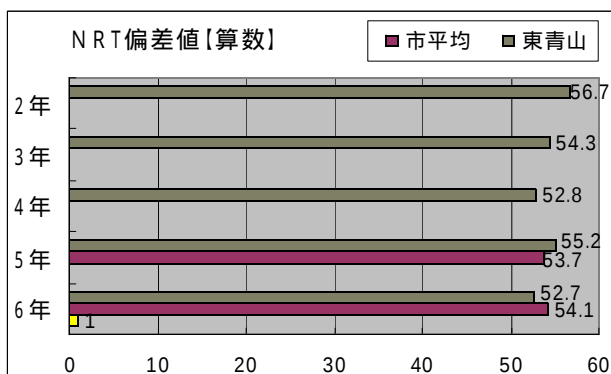
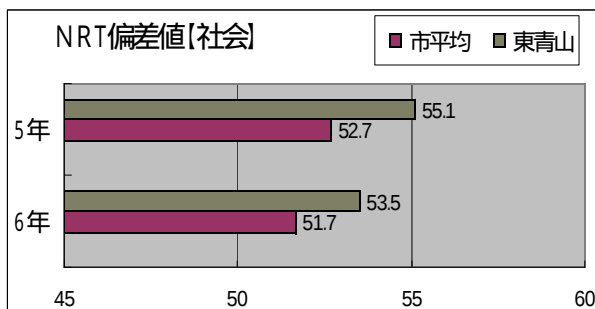
2年・音読カードを持たせ、句読点に気を付けたり、場面の様子を考えたりして音読練習をする。

3年・文章をまとめるときには、主語・述語や句読点に気を付けて書くよう繰り返し指導する。

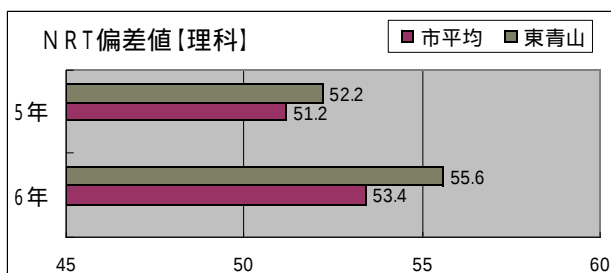
4年・接続語の働きを知り、自分の表現に生かせるよう、教科書の例文を参考にしながら練習する。

5年・辞典の言葉の配列をおさえたり、意味調べを取り入れたりしながら、辞典を使う機会を多く取り入れていく。

6年・説明文の要旨をまとめたり、自分の考えを書いたりする活動を多く取り入れていく。



- 5年・全体の前で発表できない児童もいることから、より多くの児童が発表できるようグループ学習を意図的に取り入れ、グループ内での教え合いを大切にした学習を行う。
- 6年・教え合いを重視し、2～3人程度の班で問題解決の方法を説明したり、分からないところを教えたりする活動を取り入れる。



【10月の行事予定】

3日(水)4日(木) 授業3限
 5日(金)前期終業式
 9日(火)後期始業式
 10日(水)体育用品販売
 12日(金)委員会
 19日(金)クラブ
 28日(日)文化祭
 29日(月)文化祭代休
 30日(火)教育実習(～11月12日)

【社会】

- 5年・地図や年表等の資料の読み取りの機会を多く設定し、発表の場を設けたり、問題解決に役立てたりする時間を確保する。
- 6年・社会事象の背景を想像させたり、「もし～だったら」と仮定して予測させたりする時間を意図的に設定し思考力を高める。

【算数】

- 2年・操作活動を多く取り入れるようにするとともに、繰り返し学習などで集中力や計算力を高める。
- 3年・日常生活と結びつけながら、具体的に考えられるような学習活動を工夫する。
- 4年・実際に測定器具を用いて測る練習を取り入れるなど、具体的な操作をする時間を増やす。

【理科】

- 5年・調べる植物や生き物を決め、記録を取りながら継続的に観察させるなど観察・実験等の実体験を重視する。
- 6年・実験前に結果の予想を立てさせたりして実験を行い、結果のまとめや結果から何が言えるのか考えさせ、きちんと記録させる。

